

ライン導水ブロック (小型水路内蔵型歩車道境界ブロック)

排水 NETIS掲載終了
KK-020004-VE

ライン導水ブロックは、全延長にわたって集水口をそなえ、内蔵管路で排水するため、エプロンが不要になります。この構造によって縁石まで車道横断勾配を一定とすることが可能であり、路側部の有効幅員が広がります。車道を通る二輪車にとって、通行の安全性を確保することができます。

●特長

1. 有効幅員の拡大

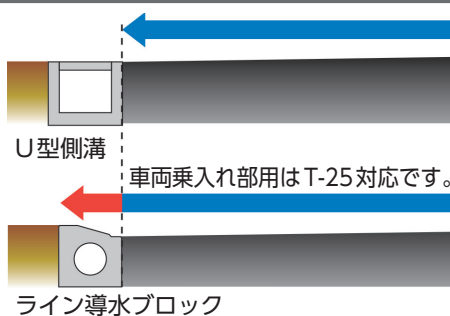
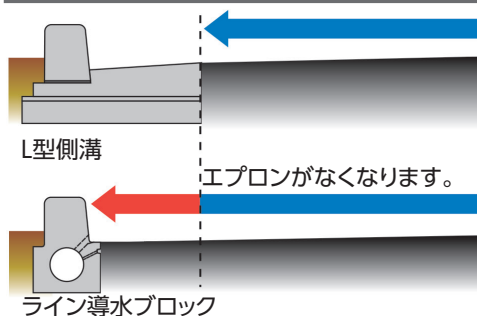
街渠エプロンが不要となるので、路肩の有効幅員が拡がり、横断勾配折れが解消できます。また、舗装と街渠エプロンの境界で段差が発生しないため、自転車通行者、車両ともに安全に通行できます。

2. バリアフリー

ライン導水ブロックは、集水スリットによる連続集水により、路面より速やかに雨水を排除するため、水溜りを解消、水はねを防止できます。

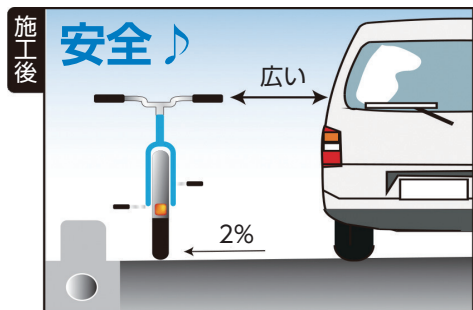
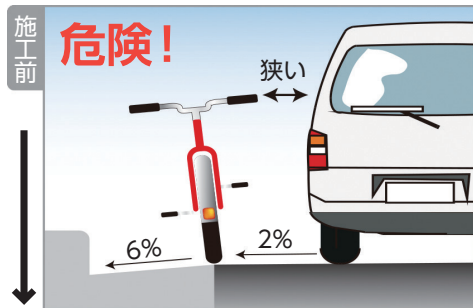


道路幅員が狭い場合に 有効幅員が増えることで、様々なメリットが生まれます。



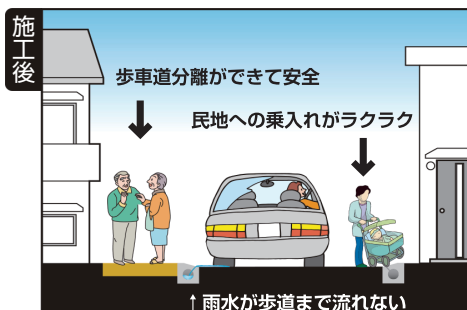
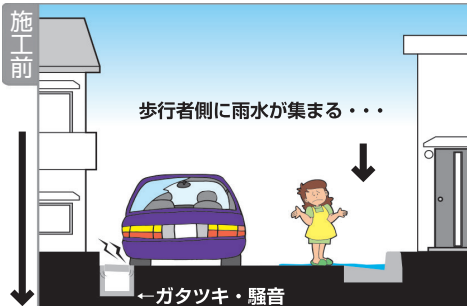
■交通量の多い道路に

路肩の横断勾配が一定になるので、二輪車の走行安全性がアップします。



■住宅街などの生活道路に

生活道路が抱える問題を解消し、安心、安全な道路空間を創出します。



水たまりの解消に 道路利用者のバリアである水たまりを解消し、安全と快適性を向上させます。

標準部

- L型側溝の代替品として使用
- 集水スリットによる連続集水により、路面の雨水を速やかに排除。
- 経済性、縦断勾配の小さい道路での水たまり対策。



歩道切下部

- 既設構造物の関係で排水勾配が十分にとれない所での、水たまり対策。
- 車いすのバリアフリー対策として。



対応例

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

景観関連

河川関連

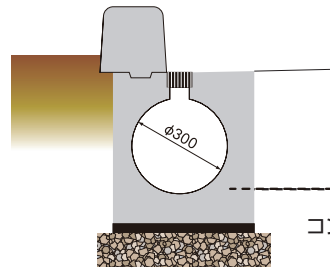
その他

地下障害物への対応

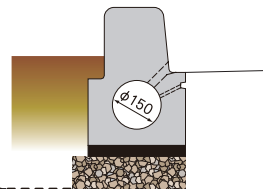


電線共同溝工事等に使用されています。

円形側溝

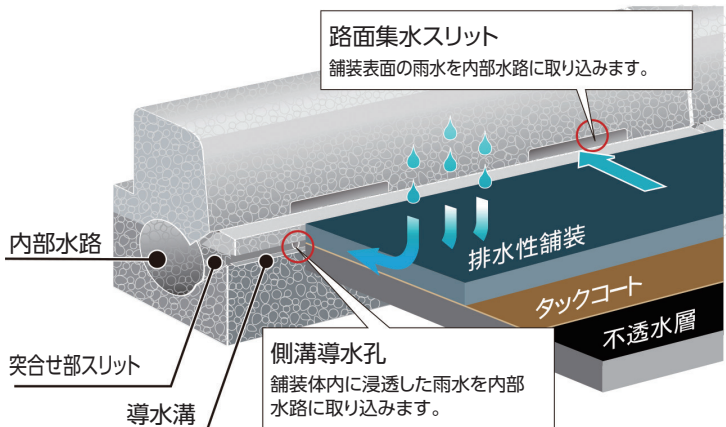


ライン導水ブロック溝

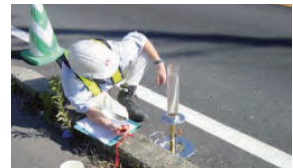
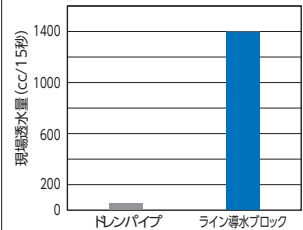


コンパクトに施工できます

排水性舗装対応 密粒舗装だけでなく、排水性舗装にも対応しています。

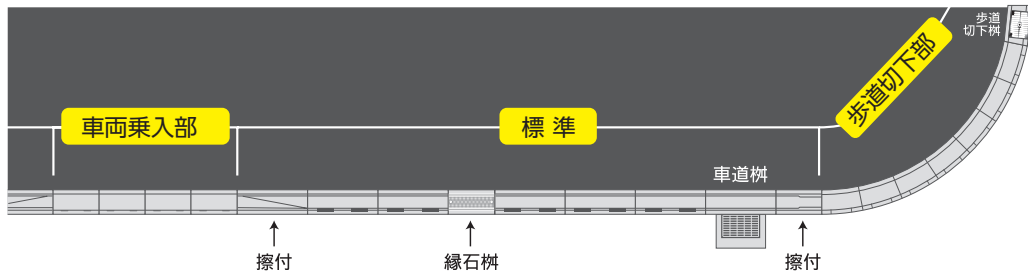


現場透水量試験結果(施工後1年)



主要製品

主要製品

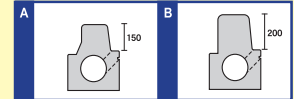


■標準 歩車道A・Bφ150・φ200相当 L=1000

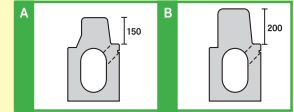


※上記製品には歩車両面集水タイプもあります。

φ150



φ200相当



■歩道切下 φ125 L=600

フラット2cm



点検口(直線のみ)



■摺付(歩道切下)

A・B 左・右 φ150
L=1000



■縁石樹(A・B L=600)



↑蓋の開閉時

■車両乗入 φ150 L=600

テーパー 1~5cm



点検口



■摺付(車両乗入れ)

A・B 左・右 φ150
L=1000

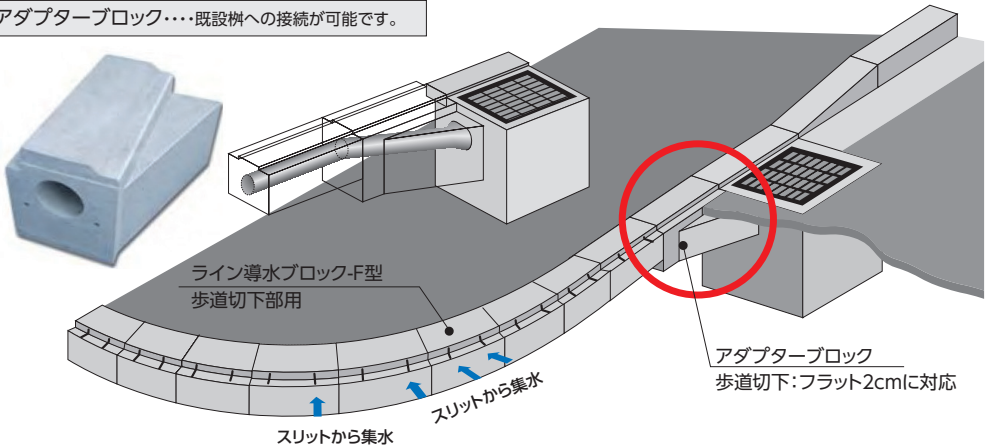


■車道樹(A・B)



※φ200相当については別途ご相談ください。

■アダプターブロック...既設樹への接続が可能です。



アダプターブロック
歩道切下:フラット2cmに対応